

第6学年道徳科学習指導案

日 時 令和〇年〇月〇日(金)〇校時
場 所 6年〇組教室
授業者 〇 〇 〇 〇

1 主題名 自由と責任 「A-(1)善悪の判断, 自律, 自由と責任」

2 ねらいと教材

(1) ねらい

自由と自分勝手の違いを考えて責任のある行動をしようとする道徳的判断力を育てる。

(2) 教材名

「修学旅行の夜」(東京書籍 新しい道徳6)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方

本主題は、小学校学習指導要領特別の教科道徳、内容項目A-(1)「善悪の判断, 自律, 自由と責任」の「自由を大切にし, 自律的に判断し, 責任のある行動をすること」を受けている。

自己を高めていくには何物にもとらわれない自由な考えや行動が大切である。自由には, 自分で自律的に判断し, 行動したことによる自己責任が伴う。自分の自由な意思によっておおらかに生きながらも, そこには内から自覚された責任感の支えによって, 自ら信じることに従って, 自律的に判断し, 実行するという自律性が伴っていなければならない。

6年生の段階は, 自主的に考え, 行動しようとする傾向が強まる時期である。一方で, 自由の捉え違いをして相手や周りのことを考えず自分勝手な振る舞いをしてしまうことも見られる。

自由と自分勝手の違いについて考えることを通して自由に伴う自己責任の大きさについて理解し, 自律的に判断できるようにすることが必要だと考え, 本主題を設定した。

(2) 児童のこれまでの学習状況や実態

本学級の児童は, 委員会活動や縦割り活動等において, 最高学年として責任を持って自分の仕事を行っている。しかし, 最高学年として自由に行えることが多くなったことで, その後どうなるかを考えずに判断し, 行動してしまう姿も見られる。また, 相手がどのような気持ちになるのか考えずに自分に都合の良いルールを決めるなど, 自由と自分勝手を混同している児童もいる。

児童は5年生の「遠足の子どもたち」の授業において, 「自由だからできることとそのよさを考えること」, 「自由な考えや行動のもつ意味やその大切さを実感すること」について学習してきた。本時の学習では「自由に伴う自己責任の大きさ」まで考えさせたい。さらに, 中学校1年生で扱う「自分の自由な意思に基づいて決定し, 責任をもたなければならないことを実感すること」につなげたい。

(3) 使用する教材の特質

本教材は、修学旅行に出かけた「わたし」が、夜に部屋で騒いでしまい注意を受けるという話であり、児童にとって身近な話題を扱った教材である。

修学旅行の夜、「わたし」の班では「人に迷惑をかけないように気を付けて自由におしゃべりしよう」という鈴木さんの提案からひそひそ話をしていたが、次第に声が大きくなっていった。班長の私は注意をしていたが、効果がなくなっていく。「わたし」は、副班長の「班長や副班長になりたくてなかったわけじゃないから、もう注意しなくていい」という言葉に賛同し、おしゃべりの仲間に入って楽しんだ。先生に注意されても隣の部屋の友達に注意されても静かにすることができなかったが、再度注意に来た先生から「自由と自分勝手の違いを考えなさい」と言われ、反省するという話である。

先生の言葉を通して、「自由と自分勝手の違い」について考え「自由に伴う自己責任の大きさ」について気付かせることができる教材である。

(4) 指導観

本時の指導に当たっては、小学校で内容項目A-(1)「善悪の判断、自律、自由と責任」を扱う最後の時間になるので、教材をきっかけに自分の生活経験を振り返り、自分事として考えさせていきたい。

導入場面では、自分の生活を振り返り、自由の良さや自由だけでは社会が成り立たないことを押さえることで、自由に行動するとはどのようなことか問題意識を持たせる。

展開場面では、自分がこの部屋にいたらどうするのかについて問うことで、自分勝手に行動してしまう人間の弱さに共感させ、どうしたら弱さを乗り越えることができるのかについて自分事として考えさせる。さらに、何のために責任を持つことが大切なのかについて考えさせることで、責任のある行動の大切さに気付かせたい。また、展開後段では教材から離れ、「自由」に行動するとはどういうことか生活経験に基づいて考えさせていく。

児童が自分の考えを明確にして話し合えるように、ベン図にネームカードを貼らせる。友達が貼ったネームカードを見て一人一人考え方が違うことに気付かせたい。また、話し合いを行った際には、共感した友達の考えをワークシートに青色で記入させることで、多面的・多角的な考えに気付かせるようにする。

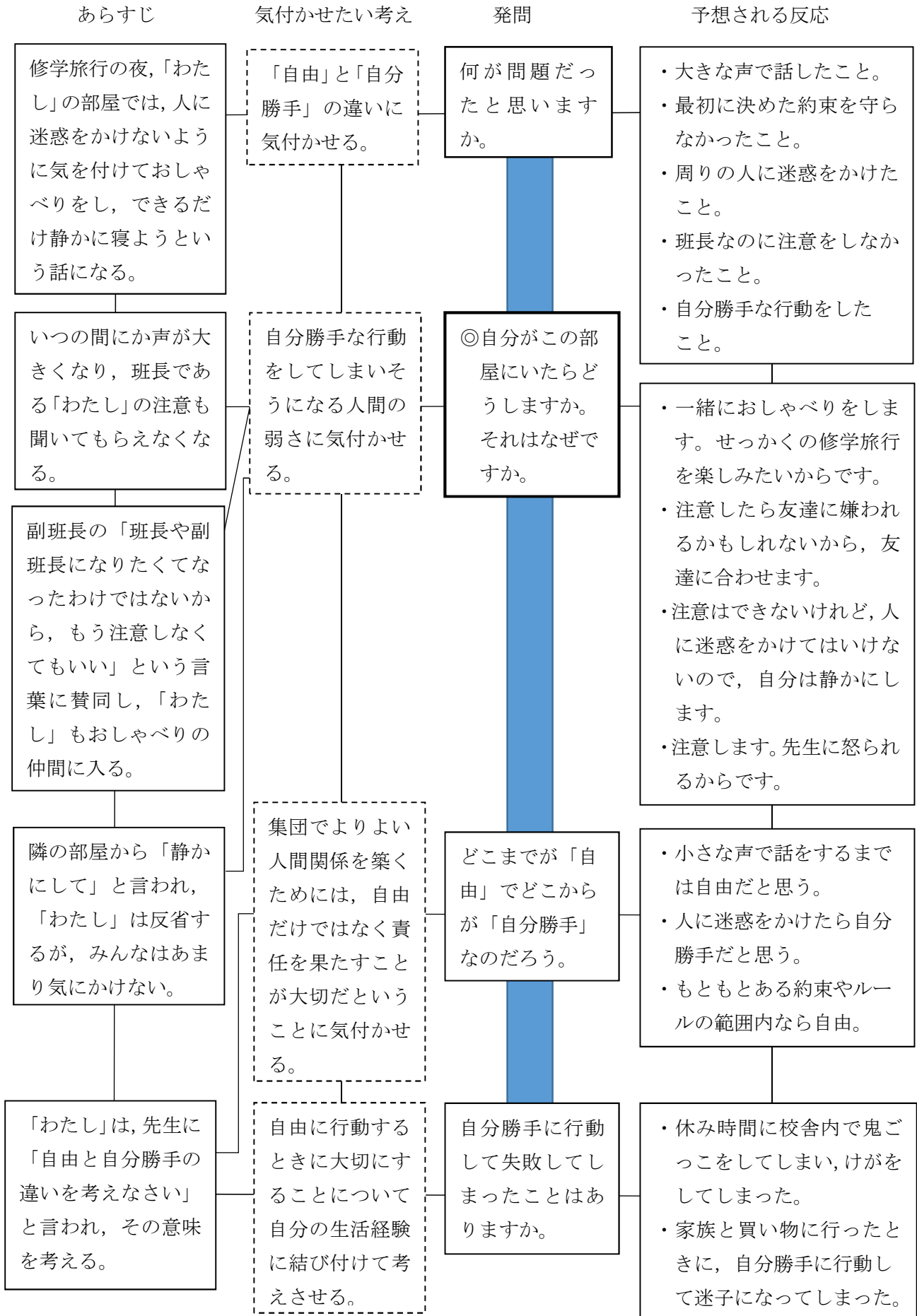
児童の学習状況を見取るために、導入の段階での児童の「自由」の捉えを板書に残し、終末の段階で書いた物と比べることができるようにする。発言や書くことが苦手な児童には、机間指導の際、声を掛けて考えを聞いたり、TTを活用して児童のうなずきや表情等を見取ったりする。

4 教材分析・発問構成 . . . 別紙

5 学習指導過程 . . . 別紙

6 他の教育活動との関連 . . . 別紙

(別紙) 4 教材分析・発問構成



(別紙) 5 学習指導過程

	学習活動	○主な発問(◎中心的な発問) ●補助発問 ・児童の反応	指導上の留意点
導入 5分	1 本時のねらいとする道徳的価値について問題意識を持つ。(一斉) 2 課題をつかむ。(一斉)	○「自由」とは、どういうことですか。 ・好きなことができること。 ・自分で決定できること。 ・人から命令されないこと。 ○「自由」だけではだめだと思ったことはありますか。 ・人に迷惑をかけたとき。 ・みんなで何かをしなくてはいけないとき。 ・何をしたいのか分からなくなってしまうとき。	・導入で、児童の「自由」の捉えを確認し、授業を通して理解の深まりを感じられるようにする。 ・自由の良さと、自由だけでは社会が成り立たないことに気付かせ、問題意識を持たせる。 日常生活に関連付け、自分の生活を振り返ることで自分との関わりで考えさせ、本時の課題に対して問題意識を持たせる。(問)(自)
	自由に行動するとはどういうことか考えよう。		
展開 30分	3 範読を聞き、「自由」と「自分勝手」の違いを考える。(一斉) 4 自分勝手な行動をしてしまいそうになる人間の弱さに気付く。(個人→一斉)	○何が問題だったと思いますか。 ・大きな声で話したこと。 ・最初に決めた約束を守らなかったこと。 ・周りの人に迷惑をかけたこと。 ・班長なのに注意をしなかったこと。 ・自分勝手な行動をしたこと。 ●「自分勝手」な行動とはどのような行動ですか。 ・人のことを考えず、自分のやりたいように行動すること。 ◎自分がこの部屋にいたらどうしますか。それはなぜですか。 ・一緒におしゃべりをします。せっかくの修学旅行を楽しみたいからです。	・どんな問題があるのかを考えながら範読を聞かせる。 ・「自分勝手」という言葉が児童から出てこない場合は、「問題になった行動は、『自由』ですか、『自分勝手』ですか」と問い、「自由」と「自分勝手」の違いについて考えさせる。 ・「自分勝手」について考えさせることで、「自由」とは「何をしてもいいこと」ではないことに気付かせる。 ・黒板のベン図にネームカードを貼らせ、自分の考えを明確にさせる。 ・児童に「おしゃべりする」「注意する」の枠に入らない考えがあることを伝え、

<p>展 開 30 分</p>	<p>5 集団でよりよい人間関係を築くためには、自由だけではなく責任を果たすことが大切だということに気付く。 (一斉)</p> <p>6 自由に行動するとき大切にすることについて自分の生活経験に結び付けて考える。 (一斉)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・注意したら友達に嫌われるかもしれないから、友達に合わせます。 ・注意はできないけれど、人に迷惑をかけてはいけないので、自分は静かにします。 ・注意します。先生に怒られるからです。 ●周りの人(同じ部屋の友達、隣の部屋の友達、先生)は、あなたの行動をどう思ったと思いますか。 <p>○どこまでが「自由」でどこからが「自分勝手」なのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この場合は、小さな声で話をするまでは自由だと思う。 ・この部屋の人に、小さな声でも気になって眠れない人がいたら、小さい声でもおしゃべりをしてはいけないと思う。 ・人に迷惑をかけてしまったら自分勝手だと思う。 ・もともとある約束やルール の範囲内なら自由だと思う。 <p>○自分勝手に行動して失敗してしまったことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休み時間に校舎内で鬼ごっこをしてしまい、けがをってしまった。 	<p>枠にとらわれないで考えることができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>この部屋に自分がいたらどうするかを考えさせることで、自分勝手な行動をしまいそうになる人間の弱さを自分との関わりで考えさせる。(自)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>友達の考えを聞いたり、友達のネームカードの位置を見たりすることで、様々な考え方、感じ方があることに気付かせる。(多)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><評価> 自分と違う感じ方や考え方を理解しようとしていたか。(多)【話し合い・発言・観察】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ自分勝手ではいけないのか考えさせることで、責任を果たすことの大切さに気付かせる。 ・ベン図に貼った自分のネームプレートを振り返り、「自由」に対する考え方の変化や深まりに気付かせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自分勝手に行動してしまったことを振り返り、そのときどうすれば良かったのかを考えさせる。(自)</p> </div>
-----------------------------	---	---	---

		<ul style="list-style-type: none"> ・家族と買い物に行ったときに、自分勝手に行動してしまい、迷子になってしまった。 	
終 末 10 分	7 自己の生き方について考える。(個人)	<p>○今後、どのようなことを大切にして行動していきたいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きなように行動するのが「自由」だと思いましたが、それは「自分勝手」だったことに気が付きました。友達や先生などのことも考えて行動したいと思いました。 ・私は、相手のことを考えて行動したいと思いました。そうすることで、相手だけではなく自分もいい気持ちになると思いました。 ・「自由」ってもっと簡単なものだと思っていたけれど、そうではないことが分かりました。これから、自由に行動することが増えてくるので、正しい判断ができるようによく考えて行動したいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自由に行動するために大切なこと」について本時で考えたことを振り返らせる。 ・導入での「自由」の捉えと比較し、変化や深まりを感じられるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>自由に行動するために大切なことについて書かせることで、自己の生き方について考えを深めさせる。 (生)(自)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><評価> 自由に行動するときどのようなことを大切にしたいか、自分との関わりで考えようとしていたか。 (生)(自)【ワークシート】</p> </div>

(問)：問題意識を持たせる

(多)：多面的・多角的に考えさせる

(自)：自分との関わりで考えさせる

(生)：自己の生き方について考えさせる

【評価】

<児童の評価>

・自分と違う感じ方や考え方を理解しようとしていたか。

(多)【話し合い・発言・観察】

・自由に行動するときどのようなことを大切にしたいか、自分との関わりで考えようとしていたか。

(生)(自)【ワークシート】

<教師側の授業評価>

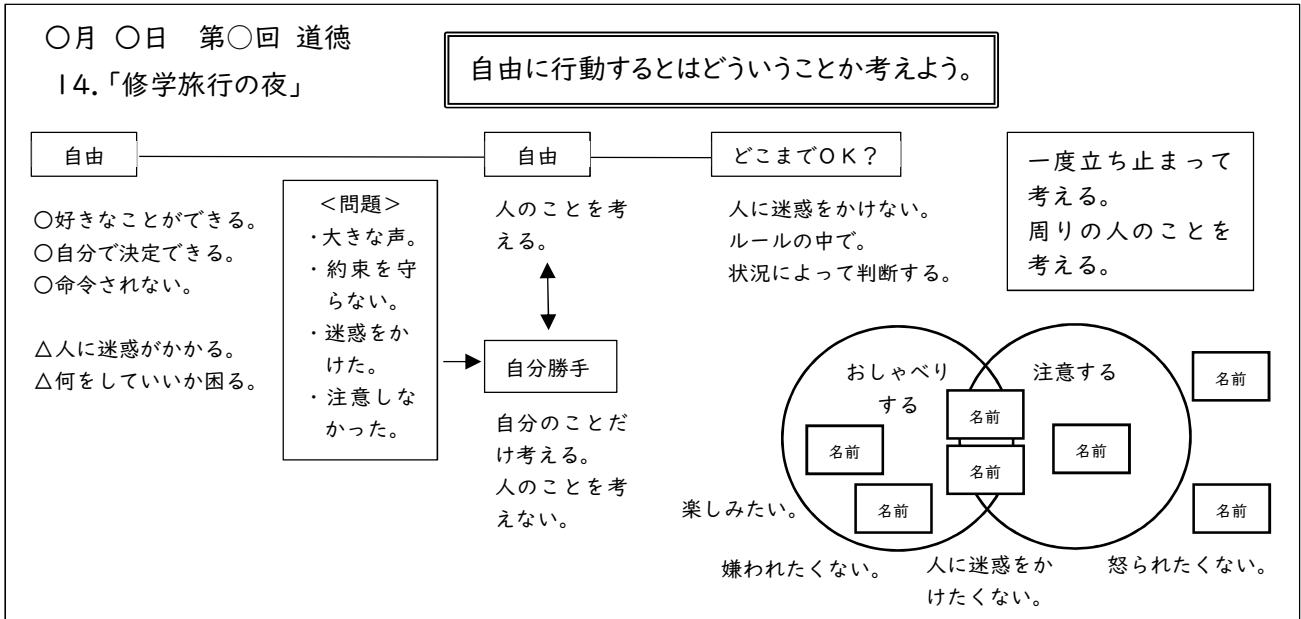
・中心的な発問で、自分と違う感じ方や考え方を理解させていたか。

(多)【話し合い・発言・観察】

・発問や補助発問を通して、自由に行動するとき大切なことについて自分との関わりで考えさせていたか。

(生)(自)【ワークシート】

【板書】



【準備物】

教師：教科書，ワークシート，ネームカード

児童：教科書，筆記用具

(別紙6) 他の教育活動との関連

